

# 令和5年10月－12月期 板柳町景気動向調査

青森県内の景気動向（10月－12月期）

県内の景気は緩やかに回復している。公共投資は横ばい、設備投資は高水準で推移している。

個人消費は回復している。住宅投資は全体としては弱めの動きとなっている。

生産は一部に持ち直しの動きが見られるものの、全体としては弱含んでいる。雇用・所得情勢は、全体として改善している。

景況調査アンケート協力事業所

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
調査事業所数	6	9	12	18	45
有効事業所数	3	5	9	13	30

従業員規模	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	0	0	2	2	4
1～4人	2	3	7	10	22
5～10人	0	1	0	1	2
11～20人	1	1	0	0	2

## 過去3ヵ月（R4年4月～6月）と比較して、どうですか

Q1 売上額について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	4	1	2	7
2 横ばい	2	1	5	7	15
3 減少	1	0	3	4	8

Q2 今後3ヵ月の売上単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	2	2	4
2 横ばい	2	4	5	8	19
3 減少	1	1	2	3	7



一部業種は価格転嫁により増加傾向にあるが、基本的には横ばい～減少が続いている

Q3 仕入単価について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	3	7	7	20
2 横ばい	0	2	1	6	9
3 減少	0	0	1	0	1

Q4 今後3ヵ月の仕入単価の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	3	2	5	6	16
2 横ばい	0	2	3	7	12
3 減少	0	1	1	0	2



引き続き増加傾向にあり、値上げに歯止めがかからない状況が続いている。

Q5 採算（収益）について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	2	4	5	9	20
3 減少	1	1	4	4	10

Q6 今後3ヵ月の採算（収益）の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	2	3	5	8	18
3 減少	1	2	4	5	12



仕入れコスト増により今後も収益の見通しが立たない状況が続く見込みである。

Q7 資金繰りについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	2	5	8	11	26
3 悪化	1	0	1	2	4

Q8 今後3ヵ月の資金繰りの見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 好転	0	0	0	0	0
2 横ばい	2	4	8	11	25
3 悪化	1	1	1	2	5



50%以上が横ばいとし、今後も同等に推移していくと見通している。

Q9 設備投資について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資した	1	1	2	1	5
2 投資しなかった	2	4	7	12	25

Q10 今後3ヵ月の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 投資したい	1	0	0	0	1
2 投資しない	2	5	9	13	29

→ 設備投資した回答が15%以上あるが今後は続かないことが予測される。

Q11 労働力について

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	1	1	0	1	3
2 変わらない	2	4	8	12	26
3 減少	0	0	1	0	1

Q12 今後3ヵ月の労働力見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 増加	0	0	0	0	0
2 横ばい	3	4	8	12	27
3 減少	0	1	1	1	3

→ 90%以上が変わらないとの回答をしており、横ばいが続く見通している。

Q13 前期と比べた景況の現状判断

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなっている	0	1	0	2	3
2 変わらない	3	3	6	7	19
3 悪くなっている	0	1	3	4	8

Q14 今後の景況の見通しについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 良くなる	1	1	1	1	4
2 変わらない	1	3	5	7	16
3 悪くなる	1	1	3	5	10

→ 一部事業者は景況は持ち直す見通しだが、全体的には未だ不透明な状況が続く。

Q15 最も最優先される経営課題（複数選択可）

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
1 需要の低迷	1	2	1	4	8
2 販売価格の低下	0	1	1	1	3
3 原材料の高騰	3	5	4	9	21
4 人件費の増加	2	1	1	2	6
5 取引条件の悪化	1	2	1	0	4
6 同業者との競争激化	2	2	4	1	9
7 人材確保難	1	0	2	1	4
8 経営者の高齢化	1	1	2	3	7
9 後継者難	1	1	0	4	6
10 その他	0	0	1	1	2



引き続き「原材料の高騰」を要因とした、収益圧迫によって、厳しい経営状態が続いている。

板柳町の景気動向（10月-12月期）

引き続き原材料の高騰、経営者の高齢化を経営課題としてあげる事業所が全般的に多く、値上げが続く状況が長期化している状況における資金繰り、事業承継への対応が求められる。

また、今後の景況の見通しが「良くなる」と回答したのは数こそ少ないものの全業種に見られ当町においても景気回復が緩やかに持ち直していると伺える。